DAHON®
freedom unfolds

Service Instructions

目次

販売者出荷前チェックリスト 03

VRO ステム 07

ハンドルポストヒンジ 08

ヘッドセット 10

フレームラッチ 12

ロックジョーヒンジ調整 16

販売者出荷前チェックリスト

保証を有効にするために出荷前チェックリストに記入してください。

以下の出荷前チェックリスト情報は認証された自転車技士および自転車安全整備士が記入すること。整備士がチェックリストのいかなる事項に対し条件および工程に不明瞭な点があれば、適切な援助を要求すること。

警告：
すべてのダホン自転車の関連部品は純正品をご使用ください。当社は非オリジナルダホン部品によって発生した損傷に対しては保証いたしません。

お客様情報

氏名：

E メール：

住所：

自転車情報

モデル：

年度：

シリアルナンバー：

販売者情報（スタンプ）

氏名：

E メール：

住所：

メカニック情報

署名：

氏名：

チェック日付：

販売者出荷前チェックリスト

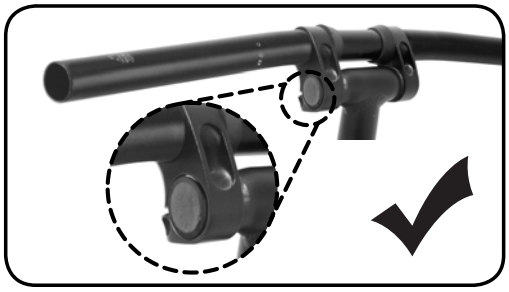
項目	説明	OK	注釈
フレーム	フレームにダメージと欠陥がない		
	全フレームに物理的な欠陥とダメージがない。		
	メインヒンジがスムーズに開いたり、閉まったりする。		
	メインヒンジがロック時に不動になる。		
	メインヒンジセーフティーラッチが正常に動作する。		
	マグネットが自転車の前部と後部をしっかりと固定している。		
ドライブトレイン	ペダル、クランク、チェーンリング、ボトムブラケットと変速機がしっかり締め付けられ、正確に整合していること。		
チェーン	チェーンが前部と後部のスプロケットの間に正しく装備されている。チェーンに物理的な破損とさびがない。		
チェーンとギアセレクター組立品	全てのギアがスムーズに作動する。全ギアが正しい位置にある。		
変速機・ハブ作動装置	ケーブルロックナットが固定されている。		
	余分なケーブルが縛られ、切断され（合理的な長さ）、覆われている。		
ギア選択	機構がハンドルバーにきちんと固定されている。		
チェーン・ガード	物理的な欠陥とダメージがない。適切な位置にある。ナットが固定されている。		
ブレーキレバー	ブレーキケーブルの拘束がなく、レバー内に正確に位置している。		
ブレーキケーブル	キャリパーがスムーズに作動し、破損の恐れがない。ケーブルロックナットが固定されている。		
	余分なケーブルが縛られ、合理的な長さで切断され、覆われていること。		

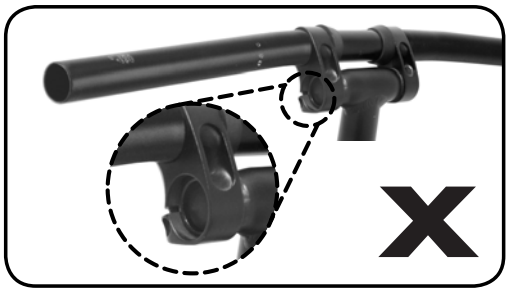
項目	説明	OK	注釈
ブレーキブロック	ブロックはリムに接触するように正確に位置している。ナットが固定されている。		
ブレーキキャリパー	前部と後部キャリパーは正確に中心に位置している。スムーズに作動し、ホイールリムを効率的にグリップする。		
サドルとシートポスト	シートボルト、サドルボルト、シートクイックリリースは正確に締固定され、調整される。		
サドル	サドル（前方とレベル）が正しい位置に調整されている。		
シートポスト	フレームを効果的にに折りたたむことが可能である。		
	（サスペンションシートポスト付き自転車用）正しく機能し、作動する。		
ハンドルバーとハンドルポスト	物理的なダメージと欠陥がない。		
ハンドルポスト、ステム、ハンドルバー	全ボルトはしっかりと取付けられており、締められている。		
ヘッドセット	正確に締め付けられ、調整される。		
ハンドルポスト・ヒンジ	開閉		
	ロック時に不動になる。		
	セーフティーロックは正しく作動する。		
ホイール	車輪リム、ベアリングとスポークには物理的なダメージと欠陥がない。		
	車輪ナットとスポーク・ニップルが締められている。		
	前輪と後輪はきちんと取り付けられている。ブレーキブロック、泥よけに干渉しない。		

項目	説明	OK	注釈
ホイールクイックリリース	正しい装着と調整		
ホイールベアリング	正しい装着と調整		
タイヤ	物理的なダメージと欠陥がない。正確な方面に向いており、正しく設置している。		
	空気圧が正確である。ダストキャップがバルブに付いている。		
ベル	ベルがハンドルバーに安全に取り付けられている。		
リフレクター	リフレクターが安全に前輪および後輪に取り付けられている。		
アクセサリ	泥よけ、ラック、スタンドとサポートが自転車にしっかりと取り付けられている。		
ライト	ライトと配線がしっかりと取り付けられ、正常に機能する。ハブダイナモが取り付けられている場合、回転方向が正しいかどうかを確認してください。		
取扱説明書	該当する取扱説明書は自転車に添付されている。		
自転車を折りたたむ、および開く	サポートブラケットが正常に機能する。		
	マグネットが正確に装着されている。		
	自転車が正しく折り畳める。		
	折り畳んだ時も自転車がしっかり立つ。		
	自転車が完全に開く。		

VRO ステム

上下と前後に VRO クランプを移動することで、ユーザーの身長または希望する乗り位置にハンドルバーを調整できます。VRO の調整方法については以下をご覧ください。



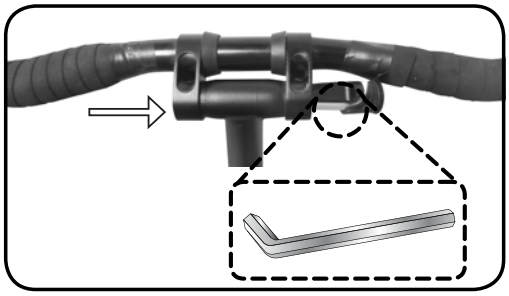


警告：

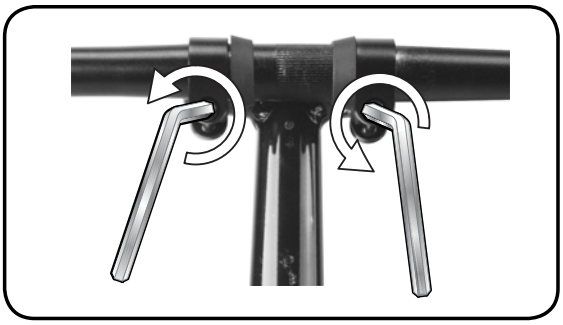
クランプの外側が T バーと正確に揃っているかをチェックしてください。

警告：

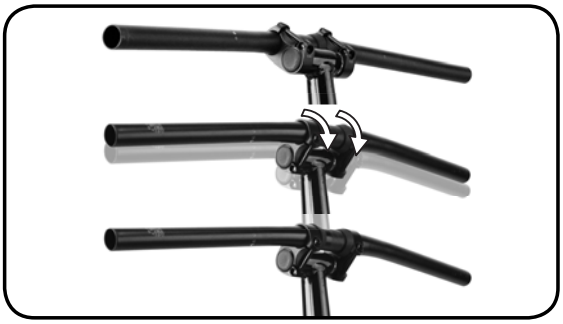
自転車の適切な調整を行う際に質問などがある場合は認証された自転車技士および自転車安全整備士までご連絡下さい。



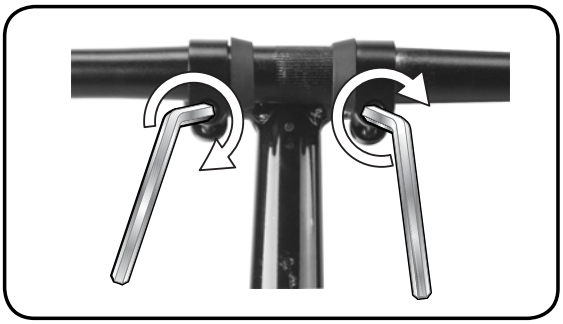
ステップ 1 - ツールボックスから 5mm のアレンキーを出す。



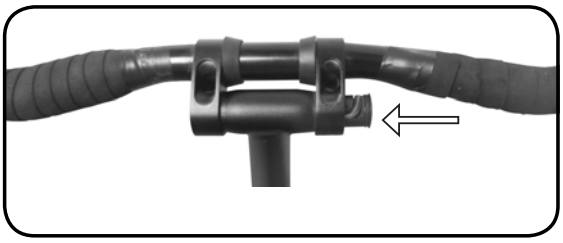
ステップ 2 - 5mm のアレンキーで、VRO クランプのボルトを緩める。



ステップ 3 - お好みの乗り位置にハンドルバーの高さと位置を調整する。VRO クランプを調整ウィンドウ内で上下と前後に移動する。



ステップ 4 - 希望する位置に設置できたら、10Nm のトルクで VRO クランプのボルトを締め付ける。



ステップ 5 - アレンキーをツールボックスにしまう。

注意：

ハンドルバーの角度が素早くブレーキレバーを握れる位置にあるか確認してください。

ハンドルポストヒンジ

ダホン折り畳み自転車において、乗る前に、ハンドルポストが安全になるようにハンドルポスト・ヒンジラッチがしっかりと閉められているか確認して下さい。適切に調整されたラッチおよびきちんと閉まったハンドルポストヒンジは左右に動きません。定期的に、適切に調整されるているかを確認するためにハンドルポストを点検してください。

警告：

緩いハンドルポストヒンジを持つ自転車に乗らないでください。ハンドルポストヒンジを閉め、ヒンジラッチを閉める時、緩いと感じた場合又は閉じる際に過度の力を必要とする場合、ラッチを再度調整する必要があります。

警告：

自転車の適切な調整に対し質問などがある場合は認証された自転車技士および自転車安全整備士までご連絡下さい。

異なるダホンモデルにはいくつかのバージョンのハンドルポストがあります。ちょっとした違いはあるものの、実質的にヒンジラッチの調整の仕方は同じです。バージョンを識別するためにハンドルポスト・ヒンジをチェックし、適切な指示に従いラッチを調整します。

備考

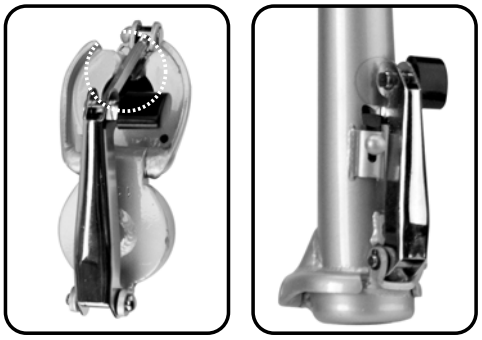
ヒンジの開き方の詳細について、「folding instructions」を参照してください。

異なるハンドルポストヒンジ

開く　**閉まる**

ラディアス V

ラディアス



VYBE

ハンドルポストヒンジを調整する。

注意：
ヒンジを締め付けすぎたり、過度に緩めたりしないように、少しずつ（1･16）で調整する。

注意：
ヒンジが非常にきつく締め付けられた場合、汚れを取り除き、潤滑油を追加します。

ラディアス V－調整する際に締め付ける又は緩めるために 6mm のレンチを使用してください。6mm のレンチがない場合、小さいプライヤや調整可能レンチを代わりに使用出来ます。

29-49Nm の力で開けたり閉じたり出来るようになるまでラッチボルトを調整してください。

警告：
ヒンジが過度に締め付けられている場合、ヒンジを破損する恐れがあります。

緩める：
矢印の通りにラッチボルトを回してください。

締め付ける：
矢印の通りにラッチボルトを回してください。

ラディアス V

ラディアス－調整する際に締め付ける又は緩めるために 8mm のレンチを使用してください。8mm のレンチがない場合、小さいプライヤや調整可能レンチを代わりに使用出来ます。

29-49Nm の力で開けたり閉じたり出来るようになるまでラッチボルトを調整してください。

警告：
ヒンジが過度に締め付けられている場合、ヒンジを破損する恐れがあります。

ラディアス

Vybe－調整する際に締め付ける又は緩めるために 6mm のレンチを使用してください。6mm のレンチがない場合、小さいプライヤや調整可能レンチを代わりに使用出来ます。

29-49Nm の力で開けたり閉じたり出来るようになるまでラッチボルトを調整してください。

警告：
ヒンジが過度に締め付けられている場合、ヒンジを破損する恐れがあります。

VYBE

ヘッドセット

定期的にヘッドセットをチェックしてください。ハンドルポストが緩いと感じた場合又はフォークの揺れが多いことに気づいた場合、ヘッドセットを調整する必要があります。ヘッドセットを調整することで余分な動きはなくなりますが、ハンドルバーは回転できます。ヘッドセットの調整の仕方については以下をご覧ください。

警告：

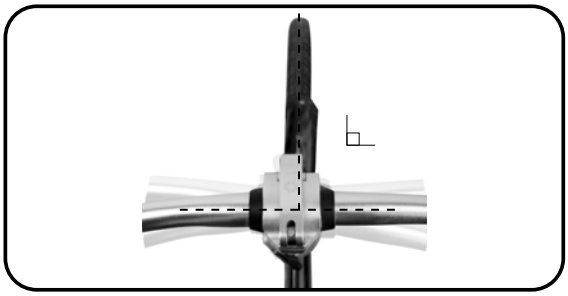
自転車の適切な調整に対し質問などがある場合は認証された自転車技士および自転車安全整備士までご連絡下さい。

警告：

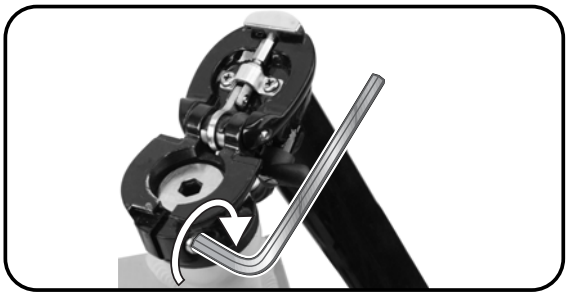
ヘッドセットをきちんと締め付けない場合、自転車の破損や人身事故を引き起こす場合があります。

注意：

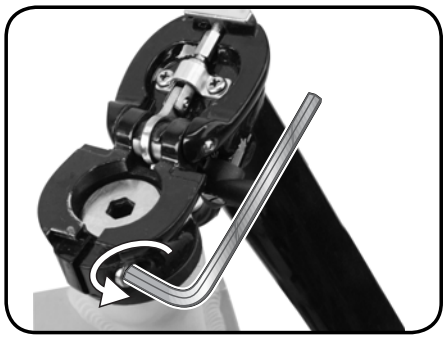
ヒンジが非常にきつく締め付けられている場合、汚れを取り除き、潤滑油を追加します。



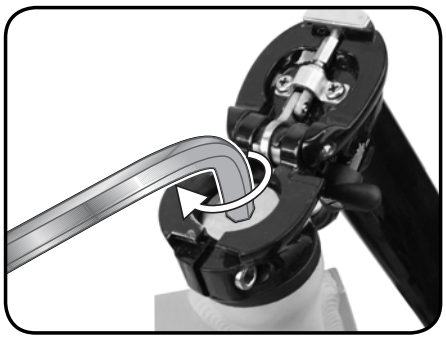
ステップ 4 - クランプねじの締め付けを続行する前にハンドルポストとハンドルバーが正確に配置されていることを確認します。上記の図のようにこれらが前輪と垂直であるかどうかも確認して下さい。



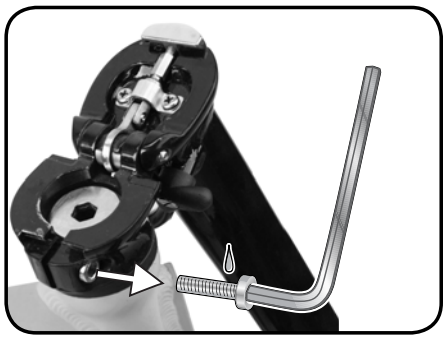
ステップ 5 - 矢印の方向のように、クランプねじを時計回りに回し、締めつけます。11.3Nm のトルクでねじを締め付けます。



ステップ 1 - 上記のように 6mm のアレンキーを反時計回りに回し、ハンドルポスト・クランプを開きます。



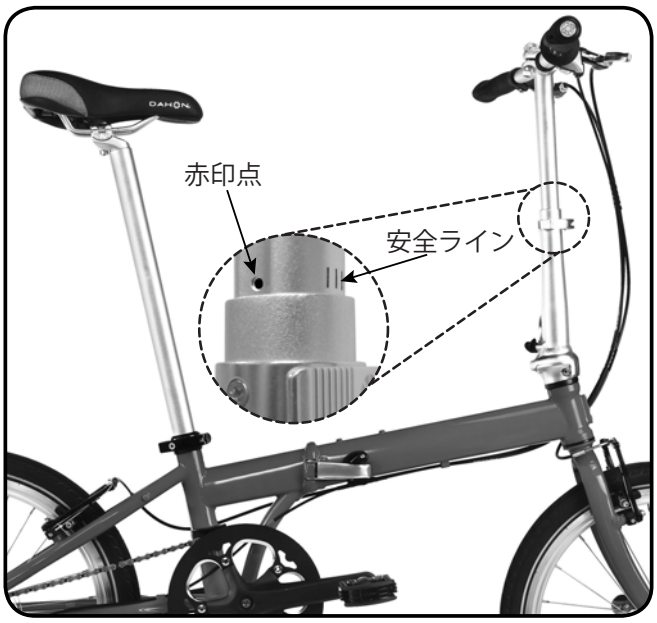
ステップ 2 - ヘッドセットねじを締め付ける時ロックタイト 222（ロックタイト２４２でも良い）を塗布してください。上記の矢印のようにヘッドセットねじを 6.8-11.3Nm のトルクで時計回りに回し、締め付けます。



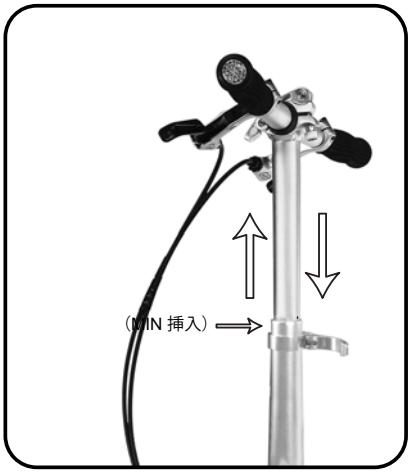
ステップ 3 - 定期的に、ロックタイト 222（ロックタイト 242 も良い）をクランプねじに塗布します。クランプねじを外にはずし、ロックタイト 222（ロックタイト 242 でも良い）の少量をこのねじのねじ山に塗布した後、ねじをクランプに戻します。

テレスコープステム

テレスコープステムはハンドルバーの高さを調整する際に便利です。以下のステップで動作を説明します。



ステップ 1
クイックリリースを開く。



ステップ 2
ハンドルバーを快適な高さに調整する。

ステップ 3
クイックリリースをしっかりとロックする。

警告：

ハンドルバーの高さを調整する時、テレスコープステムが安全ラインを超えて伸びないようにご注意下さい。自転車に乗る前に安全ラインが見えてないかを確認します。

注意：
ハンドルポストクイックリリースが過度に堅くなった場合、クイックリリースとスペーサーの間の泥を取り除き、少量の潤滑油を加えます。ただし、ロックの効果に影響を与える可能性があるため、潤滑油がハンドルポストの表面に付かないようにしてください。

注意：
自転車を折りたたむ時ハンドルポストの赤印点が見えるようにしてください。この状況がステムの折り畳みのベストポジションです。

フレームラッチ

折りたたみ自転車のもっとも重要なパーツはフレームヒンジです。乗る前にヒンジが正確に調整されるか慎重に確認して下さい。

フレームヒンジは定期的に調整する必要があります。ヒンジが緩んだ場合は調整する必要があります。ヒンジを適切に調整することで遊びと緩みを取り除くことが出来ます。ヒンジを締め付けることで、強力に密封され、フレームがしっかりと閉まります。

警告：
自転車の適切な調整に対し質問などがある場合は認証された自転車技士および自転車安全整備士までご連絡下さい。

警告：
フレームラッチがきちんと締め付けられていない場合、自転車の破損と乗り手の怪我につながる場合があります。フレームヒンジが緩んだ状態で運転しないで下さい。

ダホンの自転車にいくつかの異なるフレームヒンジが使用されています。適切な手順を識別するためにあなたの自転車をチェックしてください。

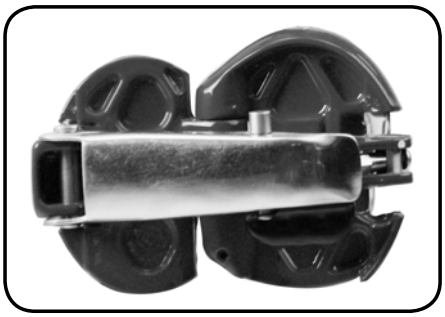
The ViseGrip™ ヒンジ（Vybe フレームヒンジにも適用されます）

調整する際に締め付けたり、緩めたりするために 6mm のレンチ又は小さいプライヤや調整可能レンチを使用します。ヒンジを正確な力で開閉するために、ヒンジボルトを調整します。アルミニウムのフレーム用は 49-59Nm でスティールのフレーム用は 29-59Nm です。

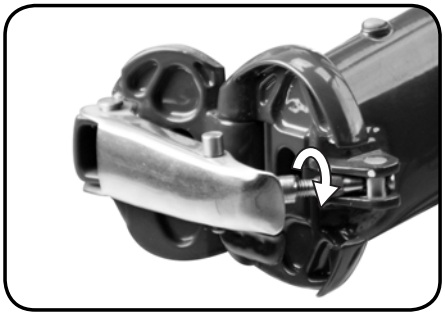
注意：
緩いヒンジを調整する時 1/16 の増分でゆっくりと回します。ヒンジの効果的な調整に失敗した場合、結果としてヒンジが過度に締め付けられたり緩んだりします。

必要なツール： • 10mm のレンチ
• 6mm のアレンキー

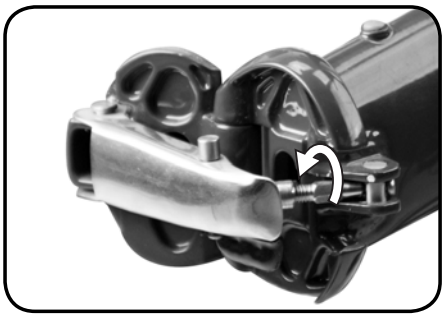
フレームヒンジ閉



フレームヒンジ開



締め付ける：
ヒンジを真向かいに向け、ヒンジラッチボルトを下向きに回します。



外す：
ヒンジを真向かいに向け、ヒンジラッチボルトを上向きに回します。

V クランプヒンジ

いくつかの V クランプのバージョンがあります。以下の指示で V クランプを調整します。V クランプのバージョンを判断するために自転車をチェックし、実際の V クランプに適切な手順を適用します。

ヒンジを同じ量の力（39~88 Nm）で開閉するためにヒンジボルトを調整します。

注意：
V クランプヒンジを調整する時、ヒンジを最適に締め付けるために 1/16 の増分で回します。ヒンジの効果的な調整に失敗した場合、結果としてヒンジが過度に締め付けられたり緩んだりします。

警告：

ヒンジが過度に締め付けられている場合、フレームの引張と破損の原因となる場合があります。

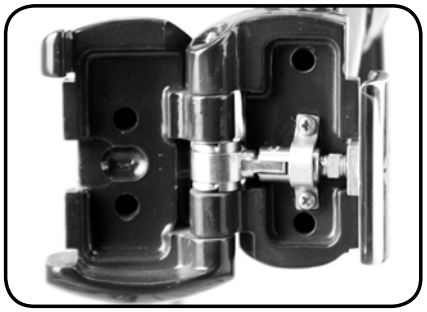
バージョン A

ヒンジクランプの半分のみがフレームの後に位置している

調整するために 8mm のレンチでヒンジを開いてください。

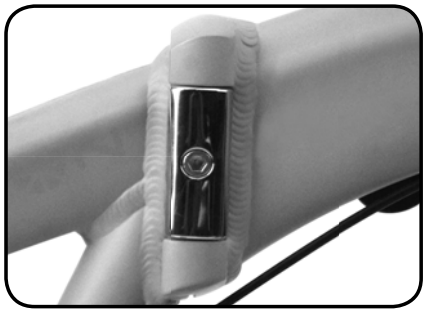
バージョン B

ヒンジクランプの半分のみがフレームの前に位置している

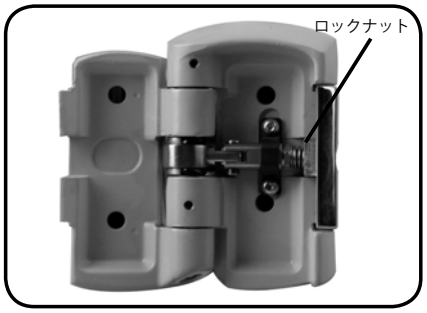


調整するために 8mm のレンチでヒンジを開いてください。

バージョン C



調整ナットが外側にあるヒンジクランプはすべてフレームの前部に位置しています。6mm のアレンキーで調整してください。



すべての調整を行う前に、ヒンジを開いてください。その後、10mm のレンチでロックナットを緩めてください。

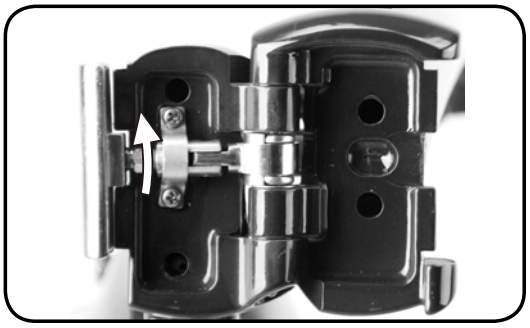
ヒンジを同じ量の力（39~88 Nm）で開閉するためにヒンジボルトを調整してください。

注意：
V クランプヒンジを調整する時、ヒンジを最適に締め付けるために 1/16 の増分で回します。ヒンジの効果的な調整に失敗した場合、結果としてヒンジが過度に締め付けられたり緩んだりします。

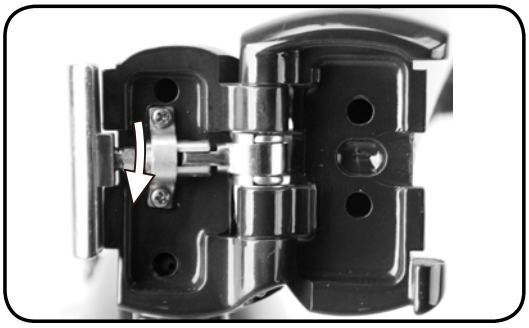
警告：
ヒンジが過度に締め付けられている場合、フレームの引張と破損の原因となる場合があります。

* **必要なツール：**8mm のレンチ

バージョン A*



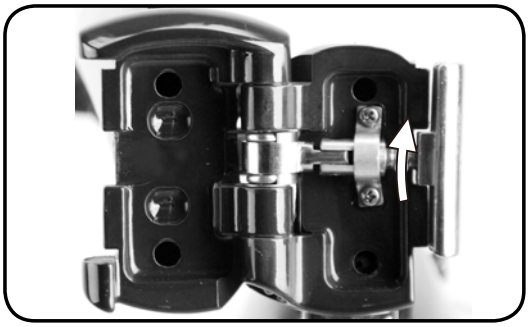
締め付ける：
上記で示したようにヒンジを真向かいに向け、ねじを上向きに回す（反時計回り）



緩める
上記で示したようにヒンジを真向かいに向け、ねじを下向きに回す（時計回り）

バージョン B*

締め付ける：
上記で示したようにヒンジを真向かいに向け、ねじを下向きに回す（反時計回り）



緩める
上記で示したようにヒンジを真向かいに向け、ねじを上向きに回す（時計回り）

* ヒンジを調整するために、8mm のレンチ（小さいプライヤや調整可能レンチも可）を使用します。

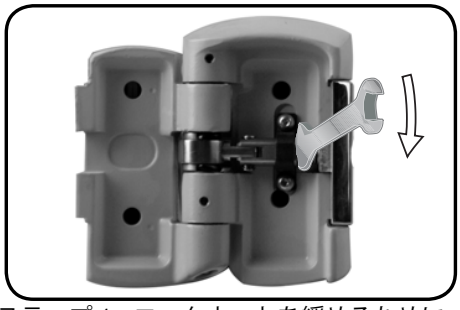
ヒンジを同じ量の力（39~88 Nm）で開閉するためにヒンジボルトを調整します。

注意：
V クランプヒンジを調整する時、ヒンジを最適に締め付けるために 1/16 の増分で回します。ヒンジの効果的な調整に失敗した場合、結果としてヒンジが過度に締め付けられたり緩んだりします。

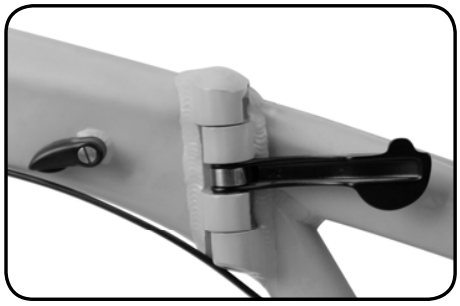
警告：
ヒンジが過度に締め付けられている場合、フレームの引張と破損の原因となる場合があります。

バージョン C*

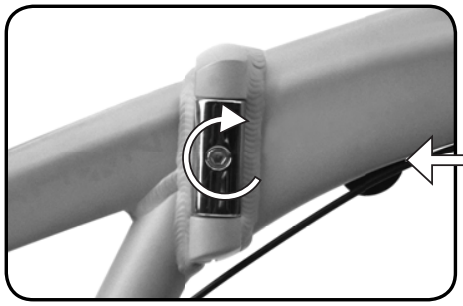
* **必要なツール：**10mm のレンチ、6mm のアレンキー



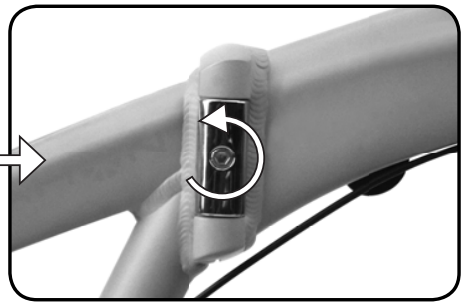
ステップ 1 - ロックナットを緩めるために 10mm のレンチを使用してください。上記に示されている方向にレンチを回します。



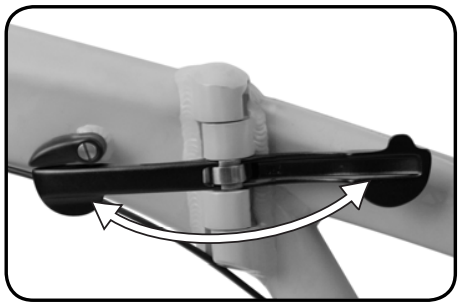
ステップ 2 - ヒンジを閉じます。この過程でラッチを閉じないで下さい。



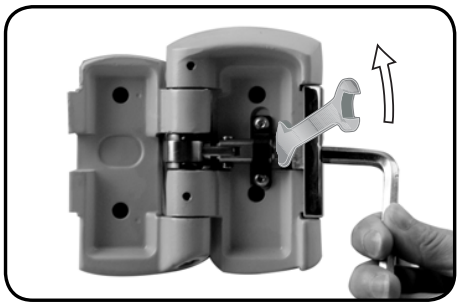
ステップ 3 - ヒンジクランプを締め付けるために 6mm のアレンキーを使用してください。調整ナットを時計回りに回す。



ステップ 3a - ヒンジクランプを外すために、6mm のアレンキーで調整ナットを反時計回りに回してください。



クランプを正しく締め付けれていることを確認するために、ヒンジラッチを開いたり閉じたりしてください。



ステップ 4 - ロックナットの締め付け：ヒンジを調整した後、10mm のレンチでロックナットを締め付けてください。上記で示した方向に回してください。

注意：
アレンキーで調整ナットをしっかり保持しながら、ロックナットを締め付けます。

ロックジョーヒンジ調整

ロックジョーヒンジが装備された自転車は通常の自転車と外観は同様です。ロックジョーを理解するために、自転車の折りたたみ箇所をよく見てください。ロックジョーヒンジを安全に使用するために以下の指示をよく読んでください。

警告：

自転車の適切な調整に対し質問などがある場合は認証された自転車技士および自転車安全整備士までご連絡下さい。

ロックジョーヒンジには（トップチューブとダウンチューブに位置される）3 つの部品があり、それぞれが異なる機能を持ちます。

- OC ボルト - ロックジョーが開閉するような部品で、特別な安全ねじ（バージョン B のみ）で締められます。
- 調整ボルト - ロックジョー機構の引張を調整します。
- ピボットボルト - フレームにおいて、二等分された二つの部分が回転するヒンジ軸。ピボットボルトがヒンジを締め付けたり、緩めたりするために調整されます。

警告：

ロックジョーヒンジを開ける事が出来るのは OC ボルトのみです。

警告：

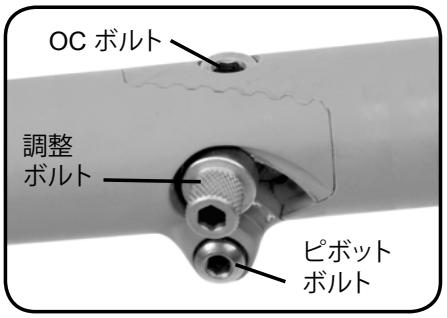
一般的なルールとして、ピボットボルトは調整する必要はありません。ロックジョーヒンジをピボットで開かないでください。ロックジョーヒンジを OC ボルトのみで開き、調整ボルトのみで引張を調整してください。

必要ツール
- 6mm のアレンキー
- 2.5mm のアレンキー
- 2mm アレンキー

要約

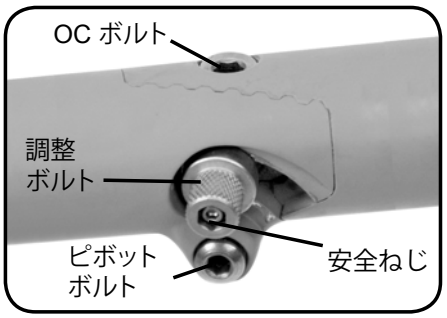
二つのロックジョーのバージョンがあります。どのバージョンが使用されているか自転車をチェックし、適切な手順に従ってください。

バージョン A

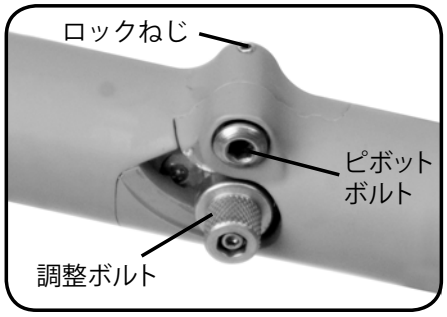


バージョン B においては、調整ボルトは追加安全ねじ（調整ボルト内に位置する）を含みます。以下の異なるバージョンを参照してください。

バージョン B



両方のバージョンでロックねじとピボットボルトは同じです。



ロックジョーヒンジを開く・閉じる

6mm のアレンキーを使う。

ロックジョーが装備された自転車の正確な折りたたみ方については自転車に付属している折りたたみ手順を参照してください。

OC ボルトを反時計回りに 180 度で回すとロックジョーヒンジのロックを解除できます。上記の図を参照してください。

ロックジョーヒンジをロックするために、ヒンジを閉じ、OC ボルトを時計回りに 180 度回します。
「クリック」という音がするまで調整ボルトをしっかり調整することです。上図のようにロックジャウヒンジの歯が一体となっています。

ロックジョーの締め付けの調整（調整ボルト）

ロックジョーは非常に安定していますが、正常に動作することを保証するために定期的に検証と調整が必要です。以下の指示に従い、ロックジョーを調整してください。

バージョン A

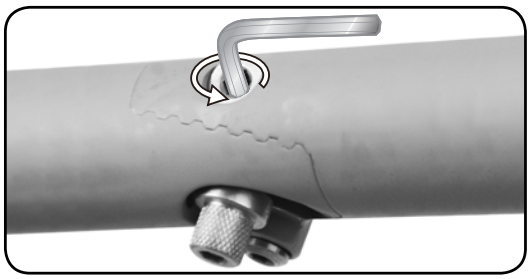
調整ボルトを過度に緩めないで下さい。

必要なツール：• 6mm のアレンキー

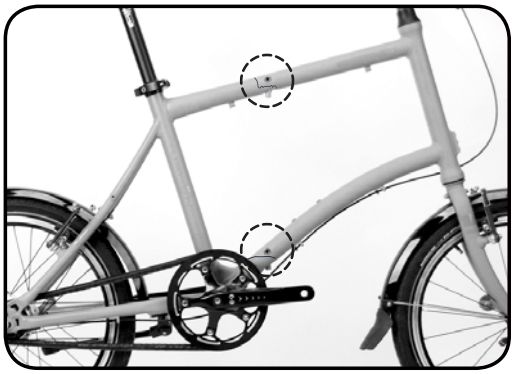
注意：
一回ごとに調整ボルトを少量の増分（1/8 回し）で回してください。さもなければ、過度の締め付けおよび／又は遊びの原因になります。

調整ボルトに**過度に力をかけないでください**。調整ボルトを締め付けすぎると、メカニズムに損害を引き起こし、最終的にロックジョーの機能と乗り手の安全性に影響する可能性があります。

調整ボルトを**過度に緩めないで下さい**。緩みすぎると、ロックジョーヒンジはきちんと閉まらなくなり、結合部が緩む結果となります。

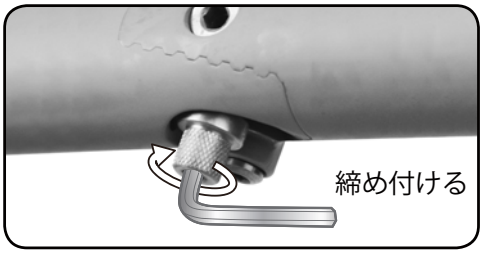


OC ボルトを開き、時計左回りの 180 度で回す。

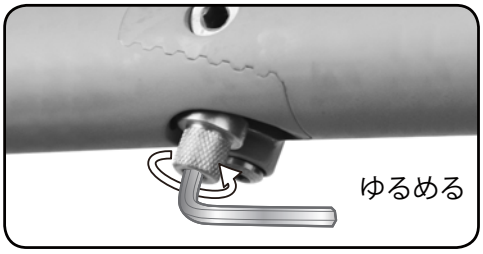


フレームを開かないでください。

フレームが閉まっている時に調整ボルトを調整する。



調整ボルトを締め付けるために、ボトルの真向かいに向け、時計回りで回す。



調整ボルトをゆるめるために、ボトルの真向かいに向け、反時計回りで回す。

ロックジョーの引張が正確であることを確認するために、OC ボルトを開いたり閉じたりしてください。OC ボルトが「カチッ」という音が出るまで閉まったら、引張が正しいことを意味します。正確な引張になれば、OC ボルトを反時計回りに 180 度で回すことでロックジョーを締めて下さい。

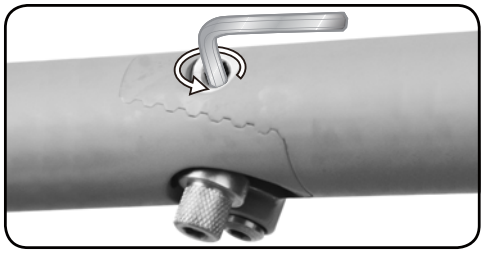
バージョン B

必要ツール： • 6mm のアレンキー
• 2.5mm のアレンキー

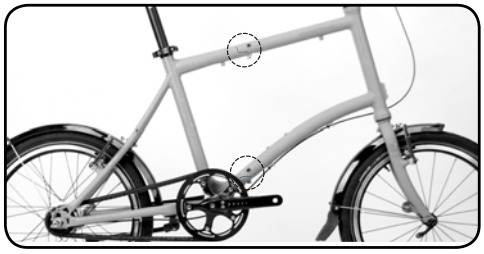
注意：
一回ごとに調整ボルトを少量の増分（1/8 回し）で回します。さもなければ、結果として過度の締め付けと遊びの原因となります。

調整ボルトに**過度に力をかけないでください**。調整ボルトを締め付けすぎると、メカニズムに損害を引き起こし、最終的にロックジョーの機能と乗り手の安全性に影響する可能性があります。

調整ボルトを**過度に緩めないで下さい**。緩みすぎると、ロックジョーヒンジはきちんと閉まらなくなり、結合部が緩む結果となります。

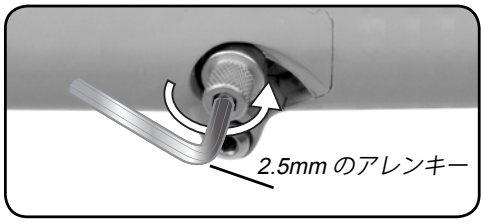


OC ボルトを開き、反時計回りに 180 度まわします。

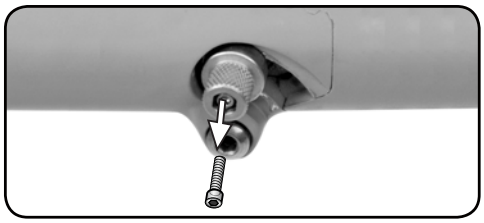


フレームを開かないでください。

注意：
調整ボルトを調整する前に、安全ねじをゆるめ、取り出してください。

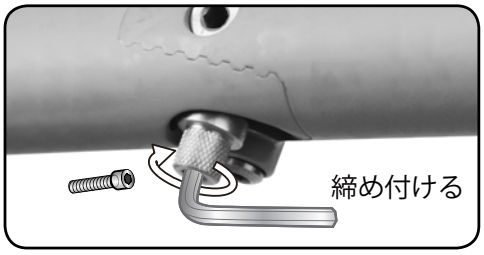


安全ねじを反時計回りに回すことで、ねじを緩めます。

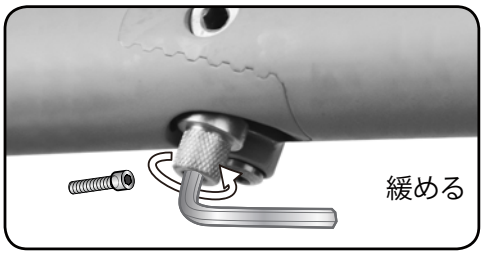


安全ねじを取り出す。

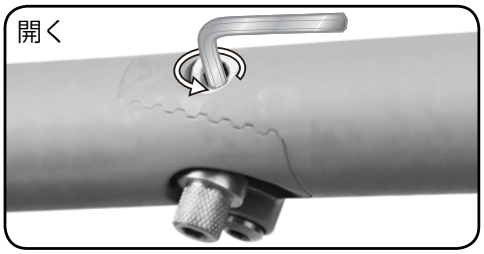
フレームが閉まっている時に調整ボルトを調整する。

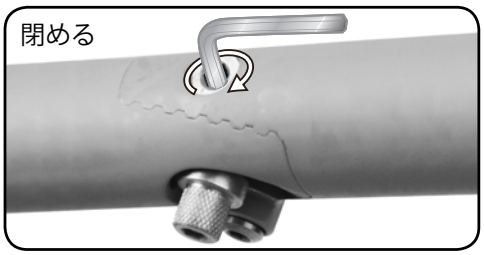


調整ボルトを締め付けるために、ボルトの真向かいに向け、時計回りで回す。

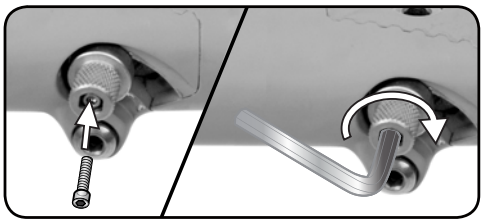


調整ボルトを外すために、ボルトの真向かいに向け、反時計回りで回す。





ロックジョーの引張が正確であることを確認するために、OC ボルトを開いたり閉じたりしてください。OC ボルトが「カチッ」という音が出るまで閉まったら、引張が適切な証拠です。



正確な引張になれば、OC ボルトを挿入し、安全ねじを締めます。

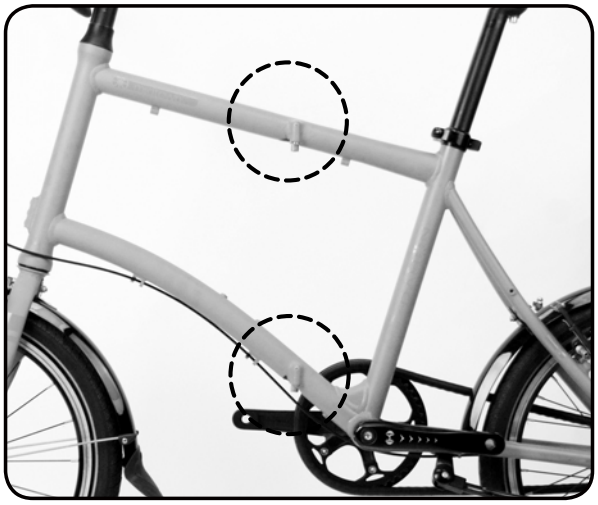
インデックスシフト調整

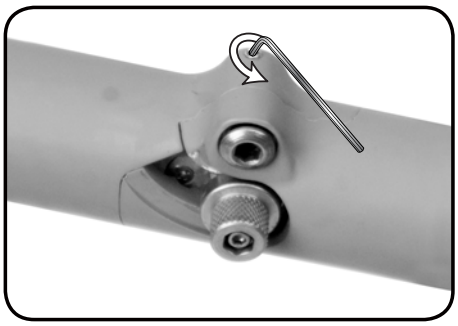
警告：
自転車の適切な調整に対し質問などがある場合は認証された自転車技士および自転車安全整備士までご連絡下さい。

ロックジョーがロック解除されたら、フレームをピボット回りに回転できます。以下の手順によりピボットボルトを調整してください（緩める・締め付け）。ピボットボルトが堅く締め付けられたときにに回転しにくくなる場合があります。これは調整ボルトを調整しながらピボットボルトの引張りを調整したことが原因である場合があります。

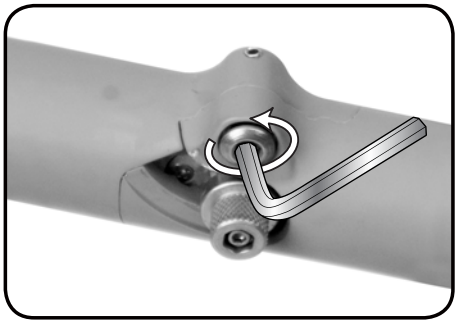
ピボットボルトを調整するために 2mm と 6mm のアレンキーが必要となります。ピボットとそのロックねじは自転車のチェーンが付いていない側に位置します。

注意：
一回ことに調整ボルトを少量の増分（1/8 回し）で回してください。さもなければ、過度の締め付けおよび／又は遊びの原因になります。

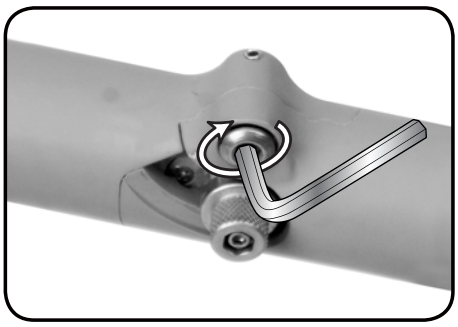




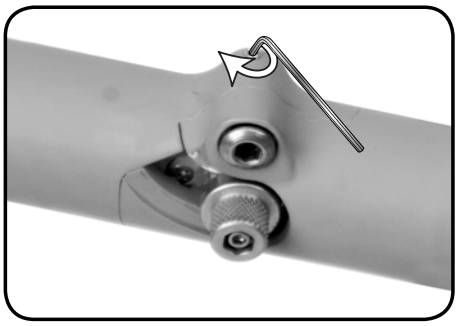
ステップ 1 - 2mm のアレンキーでロックねじを開く



ステップ 2 （緩める）- 6mm のアレンキーでピボットボルトを反時計回りに回し、緩める。上記の図を参照してください。



ステップ 2（締め付ける）- 6mm のアレンキーでピボットボ s ルトを時計回りに回し、締め付ける。上記の図を参照してください。

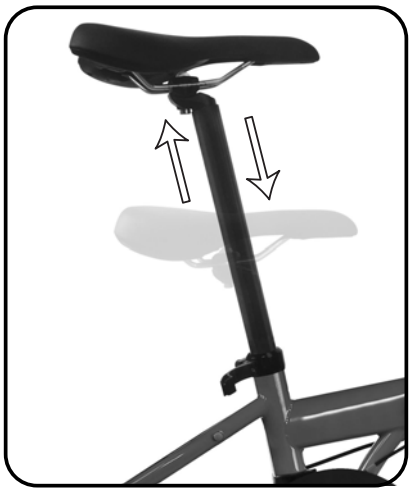


ステップ 3 - 終了した後 1Nmのトルクでロックを閉じてください。

シートポスト

シートポストはクイックリリースによって適切で快適な高さに簡単に調整できる。

ステップ 1
クイックリリースを開く



ステップ 2
適切な位置にサドルを移動させる

ステップ 3
クイックリリースをしっかりロックする

警告：

シートポストを最小挿入位置または最大挿入位置を超えた位置に調整しないでください。自転車に乗る前にシートポストの位置がこの安全マークの間にあるか確認してください。

注意：

ハンドルポストクイックリリースが過度に締め付けられた場合、クイックリリースとスペーサーの間の泥を取り除き、少量の潤滑油を加えてください。ただし、ロックの効果に影響を与える可能性があるため、潤滑油がハンドルポストの表面に付かないようにご注意下さい。

DAHON
freedom unfolds

Service Instructions

Headquarters
Dahon North America INC.
833 Meridian Street
Duarte CA 91010
+1 800 442 3511

Dahon Technologies, Ltd.
Dahon Bldg, Furong 6th
Rd., Shajing
Shenzhen, 518125, P.R.C
+86 755 27249136

Dahon Europe
No.1 P.O. Box 17,
Goliamokonarsko Shosse Str.
Tsaratsovo Village, 4027, Bulgaria
+359 32335 598

www.dahonbikes.com

© 2012 Dahon North America